

# 安全と安心が 感じられるまち

日常のあらゆる場面で安全、安心を確保することは、市民生活を送るために不可欠な条件です。そのために、犯罪、交通事故、消費生活上のトラブルなどに的確な対策を講じ、これらを軽減していくことが必要です。

いつ発生するのが分からない自然災害に対しては、建物の防災性を高め、安全な避難場所や避難路の確保、治水対策など、災害に強いまちづくりを進めるとともに、危機管理体制の充実を図ります。さらに、市民一人ひとりが適切に判断、行動できるよう、防災意識を醸成するための取り組みを充実していきます。

また、厚木基地に関わる航空機の騒音、墜落事故の不安は、長年にわたって市民生活に影響を及ぼしてきました。これらの解決についても粘り強く取り組んでいきます。

大和市は、「健康創造都市」の実現に向けて、日常時だけでなく災害時においても市民の生命や財産を守り、安全と安心が感じられるまちづくりを推進します。



ここに注目

## スタンドパイプで街の火災を防ぐ

「スタンドパイプ消火資機材」は消火栓及び排水栓から直接ホースを伸ばし、栓の圧力のみで放水ができることから、消火資機材としては非常に軽量でコンパクトな資機材となっています。従来のバケツリレーや消火器とは違い、水を継続的に出すことができ、放水も遠くまで届くため、初期消火及び延焼防止活動に有効なものです。市では、この資機材を市内の自主防災組織へ配備すると共に、市内各所へ設置し大震災時の同時多発火災へ対応する防災環境を整えていきます。



ここに注目

## 備えて安心「携帯トイレ」

災害時において、トイレの問題は、食料や飲料水と同様に重要です。非常時であっても、トイレは我慢できるものではありません。市では地震等の大規模災害が発生した場合のトイレ対策として「携帯トイレ」の備蓄を始めました。携帯トイレは、ビニール袋内の排泄物を消臭・凝固するものです。密封したビニール袋は市が可燃ゴミとして回収します。自宅や避難所の便器でも使用できます。自治会、自主防災会では、「携帯トイレ」の備蓄が進められていますが、各ご家庭でも、大規模災害に備え、「携帯トイレ」を備蓄しましょう。



ここに注目

## AEDを、いつでも、どこでも

日本で、心臓突然死で亡くなる方は年間約6万人いますが、心臓がけいれんしている時に、いち早く電気ショックを施すと、助かる可能性が2倍近くも上がるといわれています。市ではそのような緊急事態に備えるため市内の24時間営業のコンビニエンスストアや郵便局、公共施設等約300箇所にAEDを設置しています。また、心肺蘇生法やAEDの使用方法をより多くの市民に広めるため救命講習会を実施し、AEDをいつでもどこでも使える環境を整備しています。



## 個別目標 3-1 災害への対応力を高める

- めざす成果 1 災害に対して自ら備えをしている ▶ 自主防災組織支援事業、要援護者支援対策ネットワーク事業、建築物の耐震化促進事業など
- めざす成果 2 防災・減災のためのしくみが整っている ▶ 防災備蓄品等整備事業、災害対策本部運営事業、防災行政無線（固定系）整備事業など
- めざす成果 3 都市の防災機能が充実している ▶ 河川維持管理事業、雨水管整備事業、道路橋改修事業など
- めざす成果 4 十分な消防力が整っている ▶ 消火活動事業、消防活動用資機材整備事業、通信指令装置維持管理事務など

## 個別目標 3-2 生活の安全性を高める

- めざす成果 1 犯罪の不安を感じることなく暮らしている ▶ 街頭防犯カメラ整備事業、防犯灯整備支援事業、地域防犯活動推進事業など
- めざす成果 2 交通事故の不安を感じることなく暮らしている ▶ 交通安全啓発事業、歩道セーフティーアップ事業、まちぐるみ安全点検事業など
- めざす成果 3 安心して消費生活を送っている ▶ 消費生活相談事業、消費者啓発事業、市民相談支援事業など

## 個別目標 3-3 航空機による被害を解消する

- めざす成果 1 航空機による被害のない生活を送っている ▶ 基地対策涉外・要請等活動事業、騒音測定事業など

### ここに注目

#### ～街の安全を見守ります～ 街頭防犯カメラ、 青色防犯パトロール

街頭防犯カメラは、犯罪抑止効果が高く、市民の体感治安の向上を図れることから、駅前広場や大規模公園のほか、子どもの安全対策を強化するため、小学校通学路などにも設置を進めています。また、青色防犯パトロールカーは、広い範囲を効果的にパトロールできることから、市が所有している車（公用車）約100台に青色回転灯を装備し、青色防犯パトロールを実施しています。今後も、犯罪を未然に防ぎ、市民にとって安全と安心が感じられるまちづくりを進めていきます。



### ここに注目

#### 基地問題の解決に 取り組んでいます

本市では、米海軍と海上自衛隊が使用する飛行場として厚木基地が所在することにより、航空機騒音や事故への不安など、市民生活へ多大な影響が生じています。また、広大な施設は市街地を分断し、基地周辺では建築物の高さが制限されるなど、街づくりへの影響も計り知れません。航空機騒音の主な原因である空母艦載機が2017年頃までに移駐すると示されるなか、今後も市単独の取り組みはもとより、市民、議会、行政の代表から構成される大和市基地対策協議会による国への要請や、神奈川県、厚木基地周辺市と協力した活動など、基地問題の解決に向け、様々な取り組みを進めていきます。



外務省での要請活動